



Society of Organic Solar Cell

有機太陽電池研究会

第4回 有機太陽電池シンポジウムのご案内

主題：「有機太陽電池の高効率化への道」

有機系太陽電池は、次世代太陽電池の本命として近年とくに注目を集めています。本シンポジウムは、有機系太陽電池に携わる第一線の研究者が一同に集い、高効率化と高耐久性素子の実現に向け、それぞれの立場から深く掘り下げた議論をすることを狙いとしており、今年で4回目の会合となります。とくに今年は、高効率化を実現し得る新材料と新素子構造に焦点を当てた議論を深めたいと考えております。是非、奮ってご参加頂けますよう案内させていただきます。なお、参加費（予稿集代）として2,000円を徴収させていただきます。悪しからずご了承下さい。

日時：2008年7月16日（水）-17日（木）、13時00分～19時00分

場所：京大会館〔京都市左京区吉田河原町15-9 TEL(075)751-8311(代)〕

参加申し込み：参加希望者は、氏名、所属（メールアドレス、電話）、住所を別紙フォームにご記入の上、下記FAXあるいはE-mailアドレス宛にご連絡下さい。

主催：有機太陽電池研究会

7月16日（水）

1:00-1:30

吉川 暹・第三世代有機太陽電池の開発に向けて（仮題）

1:30-2:00

今堀 博・光電変換特性向上を目指した分子工学的アプローチ

2:00-2:30

平本昌宏・超高純度有機半導体を用いた高効率有機薄膜太陽電池

2:30-3:00

木下敏宏・新規ドナー材料を用いた有機薄膜太陽電池

3:30-4:00

辻井敬亘・濃厚ブラシ構造を利用したPEDOT/PSS薄膜の合成と物性

4:00-4:30

梶 弘典・有機薄膜セル活性層の凝集構造およびキャリア移動解析（仮題）

4:30-5:00

坂口浩司・導電性分子ワイヤーの分子スケール転写

※7月16日（水）17:30-19:00 懇親会

（一般3,000円、学生1,000円を当日受付にて申し受けます）

7月17日（木）

9:30-10:00

柳田祥三・（講演依頼中）

10:00-10:30

早瀬修二・光収集と電子収集を考慮した高性能色素増感太陽電池

10:30-11:00

中澄博行・近赤外域で増感効果を示すスクアリリウム系色素の開発

11:00-11:30

森 正悟・色素増感太陽電池における色素の構造と開放電圧の関係

1:00-1:30

原 浩二郎・高性能・高耐久性の有機色素増感太陽電池

1:30-2:00

伊崎昌伸・タンデムセル用ワイドギャップ酸化物太陽電池の展開

2:00-2:30

篠原真毅・宇宙太陽光発電～レクテナの高性能化（仮題）

2:30-3:00

上原 赫・有機薄膜太陽電池の実用化へのステップ

オーガナイザー： 吉川 暹

（参加申し込み先：〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学エネルギー理工学研究所
吉川暹研究室 岡田・松村 E-mail: machmats@iae.kyoto-u.ac.jp Fax: 0774-38-3508）